

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより

主催

企画展

アウトサイダーアートの方向 2022

—Westerly winds from Osaka—

9月1日(木)～11日(日)

大阪の障がい者生活介護事業所
「アトリエライブハウス」の
アーティストによるグループ展

※1日(木)は13時から

※5日(月)は休館日

※最終日は14時まで



協力 アトリエライブハウス

入場無料

9月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
			アウトサイダーアートの方向 (～11)			
5 休館日	6	7	8	9	10	11
	アウトサイダーアートの方向 (～11)					
12 休館日	13	14	15 キッチン 松ぼっくり 営業日	16	17	18
19	20 休館日	21	22	23	24 おきがる講座	25 圓橘の会
26 休館日	27 嘶 + 話	28	29 	30 おきがる講座		

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

9月の催し

共催

圓橘の会

9月25日(日)15:00～ (開場14:30)

三遊亭圓橘

かがみがいけみさおのまつかけ

圓朝の怪談「鏡ヶ池操松影(江島屋騒動)」



“人はほほえみ、ほほえみ、しかも悪党たりうる” シェイクスピア『ハムレット』より

予約 2,500円 当日 2,800円 定員 50名 ※9月15日(木) 10時から受付開始

共催

噺 + 話

おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ

9月27日(火)14:00～ (開場13:30)

桂夏丸「懐かしのCM」 + 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円 定員 20名

※9月15日(木) 10時から受付開始

懐かしい給食の味！ キッチン松ぼっくり

9月15日(木)11:45～14:00

ドライカレー

豆腐のマリネ
スープ

700円

揚げパンは1個50円



※完売次第、閉店いたします ※ご予約はできません
※メニューを一部変更する場合があります

主催

おきがる講座

江東区の歴史をまなぶ

9月24日(土)・30日(金) 13:00～14:30 渋沢栄一ゆかりの事業6「耐火煉瓦」

9月24日(土)・30日(金) 15:00～16:30 渋沢栄一ゆかりの人々11「蜂須賀茂韶」

受講料 500円 定員 各回20名(要予約)

講師 龍澤潤(深川東京モダン館)

※9月6日(火) 10時から電話で受付予約

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

●お客様へのお願い

- 次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- 催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

横十間川とその周辺



皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

私は江東区の隣墨田区両国で生まれ江東小学校（現両国小学校）を卒業しました。

近くの豎川には材木が沢山放流されて、男の子たちはその上を飛び回って遊んでいました。家の前は馬車通り、馬が引く荷車には角材が山積み、パッカ・パッカと通り過ぎた後の落としぶみを母がブツブツ言いながら片付ける姿を思い出します。小学校の裏に吉良邸跡（本所松坂公園）があり毎年12月14日は吉良祭の縁日が立ちます。夕方になると両国橋を渡って大石内蔵助を先頭に四十七士が吉良邸に到着します。暫くすると「エイエイオー！」と勝ち名のりをあげて吉良邸を立ち去ります。途中江東区のちくま味噌の店先で労いを受けて泉岳寺へ向かったかどうかは確認していませんが、1980年（昭和55年）に南砂町に引越した当時、横十間川は葦の葉が生い茂り、夜は薄暗い街灯が兩岸の歩道を照らしているだけの寂しい処でした。然し、その後の開発は目まぐるしく仙台堀川公園、2年後に横十間川親水公園ができました。その河川敷公園の境に「生物の楽園 野鳥の森」「ボート場」ができ手漕ぎボート、足踏みボート、ボランティアの和船友の会の「和船の体験、遊覧」「水上アスレチック」遊歩道には「裸婦」「人間」等のパブリックアート等区民の憩いの場として一日中人々の姿が絶えず、この景色が小名木川と交差するクローバー橋（1994年（平成6年）開通）まで約2km続きます。この橋の名前は一般募集で選ばれたと聞いています。朝の散歩で橋の上から中川の大きな日の出と正面スカイツリーを眺めるのが大好きです。橋を渡って右岸に釜屋堀公園（釜屋跡。江戸初期から釜屋六右衛門、七右衛門が鋳造業を行っていた）があり、渋沢栄一は人口増加による食糧問題の

解消のため、高峰譲吉らと共に1887年（明治20年）日本初の化学肥料会社となる東京人造肥料会社（現・日産化学株式会社）を設立した記念碑がありますが、この説明文が理解できないで、何十年も放って置きましたが、本日解明できました。本村橋を渡ると猿江恩賜公園の森と三角帽子時計台が見えてきます。ここは江戸時代、幕府所有の材木置き場でしたが明治政府に引き継がれ皇室の御用材の貯木場になり1932年に猿江恩賜公園になりました。首都高速のガード下を抜け、横十間川沿いを北上して行くと天神橋の手前に江戸時代に寛永通宝がつくられた「亀戸銭座跡」の標柱があります。蔵前橋通りを渡ると亀戸天神社、1662年（寛文2年）創建、祭神は菅原道真、学問の神様で受験生の合格祈願の絵馬が目に入ります。横十間川に戻って龍眼寺、1395年（応永2年）創建、亀戸七福神の布袋尊が祀られています。萩寺とも言われ花の開花時にはたくさんの見物客で賑わっていました。園内に著名人の句碑があります。

こうして横十間川の流れは柳島橋から北十間川と合流します。



（文と写真 江東区文化観光ガイド 利田正子）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※新型コロナウイルス感染状況によって中止になる場合があります。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
(タオルハンカチ ステンレスボトル等)

- ・江東区の名所を描いた絵はがき
(水彩・切絵・写真)

- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・はちみつ
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ 等

江東区各地を描いた
「こうとうのまち百景」

絵はがき
1枚100円(税込)
6枚セット500円(税込)
(株)きかんし



百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」「モダン館ブレンド」(しつかり・すっきり)、そして季節限定の「冷やし」の5種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第113号(2022年8月24日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

